

NEWS LETTER

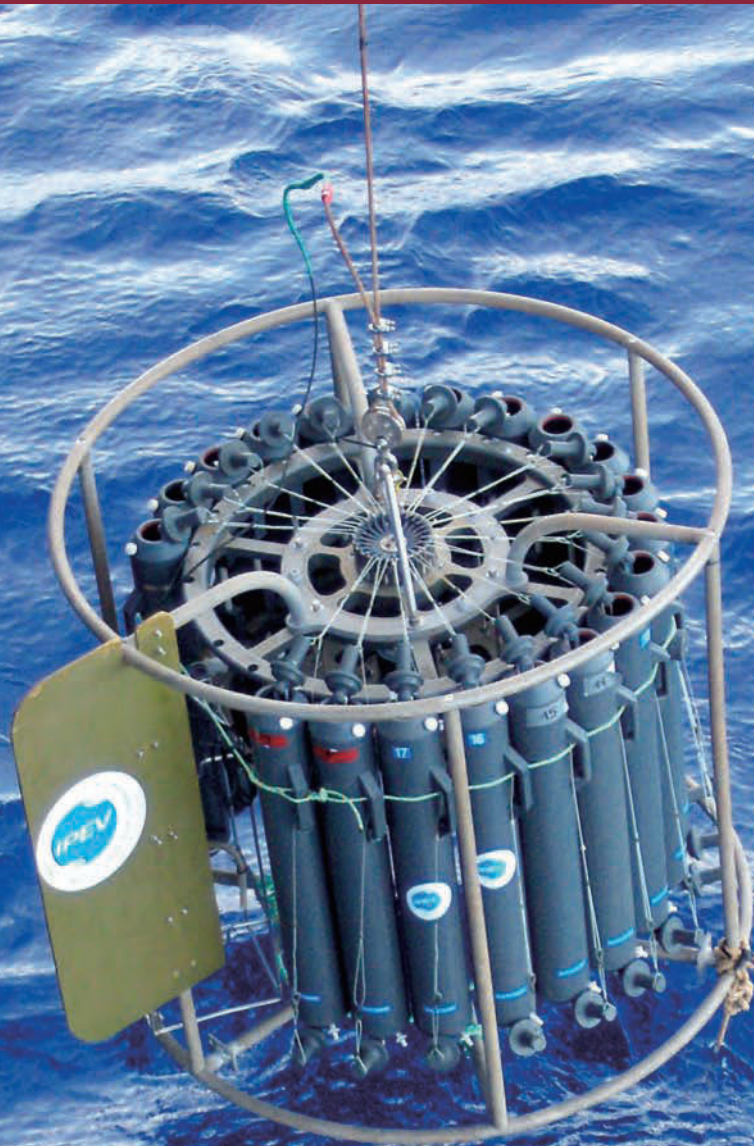
4次元統合黒潮圏資源学の創成プロジェクト
— 総合的海洋資源管理新時代の幕開け —

2020 vol.4

海の資源を継ぐ



高知大学
Kochi University



CONTENTS

巻頭挨拶 徳山センター長	1
プロジェクト概要	2
I 黒潮圏資源研究の推進	3
I-1/海底鉱物・エネルギー資源の基礎研究	
I-2/海洋生物資源に関する基礎研究	4
I-3/黒潮の時空間変遷史の研究	5
II 総合的海洋資源管理の体系化	6
III 海洋人材育成および地域産業創出	
調査・成果の報告	7・8
実施事業	9

CTD-CMSを海に投入する様子

CTD (Conductivity Temperature Depth profiler) により海水の水温や塩分の鉛直構造を観測します。同時にCMS (Carousel Multisampling System) および搭載されているニスキン採水器 (テフロン製) により、研究船上から必要な深度で汚染なく海水を採取できます。

船名/マリオン・デュフレヌ
機器所属/フランス極地研